

リモート職場見学

6月9日(火)、食品経済コースの3年生が、株式会社「紫野和久傳」様にリモートでの職場見学をお世話になりました。昨年度までは、実際に企業を訪問し、見学をさせていただいていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモートでの実施となりました。今後もリモートで連携を繰り返し、新商品の開発に繋げていきたいと思ひます。

「こんなときだからこそできること」を1つ1つ積み重ね、コロナに負けない人材を育成していきます。



Web会議サービスアプリを活用しました。

みずなぎ 発進!

航海船舶コースは将来の船乗りや地元漁業で活躍できる人材を目指しています。実習船「みずなぎ」258トンに乗船して、船乗りとして必要とされる知識や技術を身に付けます。例年、4～5月には底曳網漁業実習があり、獲れた魚介類を海洋市場として販売していました。また6月には国際航海実習があり、昨年度は韓国の済州島を訪れています。参考までに、昨年度の写真を掲載します。このような中、6月19日(金)、航海船舶



昨年度の国際航海実習(済州島入港時)の様子です。

コース2年生が乗船し、湾内観測を行いました。朝9時に本校棧橋を出港し、栗田湾から舞鶴湾、宮津湾、伊根から由良川の河口までを観測して夕方4時頃に帰港しました。測定した結果は後日、学校のHPにもアップしますので、ぜひ御覧ください。

今月の1枚<マリンバイオ部>

「ナガレホトケドジョウの累代繁殖に成功」

3月下旬から繁殖に取り組んできたナガレホトケドジョウが4月2日に産卵し、5月下旬には稚魚(F2)へと成長、累代繁殖に成功しました。部員が採卵準備と受精卵の回収、管理を行っていましたが、臨時休業期間になり、顧問がしばらく管理していました。現在は学校、部活動が再開され、管理は部員が行っています。親魚には野生個体から2018年に採卵し、2年をかけて親魚に育てた15個体(F1)を用いました。この個体が産卵し、その受精卵を孵化させて稚魚に育てたことで累代繁殖成功になりました。この繁殖には卒業生も多く関わっており、今回の成功は部の悲願であり、希少種の保全につながる成果だと言えます。

※累代繁殖とは?

人工下において数世代に渡り、繁殖を繰り返すことを指す。受精卵から成熟した親魚への育成等を繰り返すため、特に希少種においては高い技術が必要となる。



毎日休まず部員が見守っています。

○在校生からのメッセージ

海洋科学科 3年 小室 志織(橋立中学出身)

私の姉が海洋高校出身で、普通科高校ではできないことを体験しているという話を聞き、海洋高校を志望しました。部活動では、海洋ならではのカッター部に所属しています。私は女子チームのキャプテンを経験し、協調性の必要性を改めて学び、身に付けることができました。また、私の姉は海洋科学科で勉強に励み、今では医療現場を支える看護師として働いています。私も将来は看護師を目指しており、進学するため海洋科学科に所属しています。そこで、水産系以外の進路を目指している生徒と一緒に頑張っています。



○卒業生からのメッセージ

育英大学教育学部教育学科

下野 佑実 さん 平成30年度卒 (宮津中学出身)

食品経済コースは、特にイベントやレストランなどで地域の方と関わる機会が多いコースです。また、一流シェフから直接指導を受けられたり、企業とコラボして地元食材を使った新商品の開発や販売を行ったりと、実践的な経験を積むことができ、自分たちの作った商品を通じて、地域の人々を笑顔にできる素晴らしいコースです。私は、食品経済コースは、魚の捌き方や商品の作り方だけでなく、あいさつや礼儀はもちろん、ミスへの対応やお客への接客など、その時々に応じて「今何をすべきか」を考え、行動する力が身に付きます。



海洋グルメ<栗田いちごの豆乳かん>

平成31年度に「全国高校生和菓子コンテスト」に出品するため、当時の食品経済コースの3年生(國枝愛莉さん(城北中学出身)、奥田哲心さん(衣笠中学出身))が開発しました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、地元の寒天やイチゴをたっぷり使ったお菓子に仕上がっています。

○作り方

- 1 いちごを1cm角のダイスカットにして、半分を冷凍庫で凍らせる。
- 2 水に粉寒天を入れ、弱火でしっかりと溶かす。
- 3 2にグラニュー糖を入れて溶かし、豆乳を入れる。
- 4 3を型に入れ、冷凍庫に入れていない方のいちごを加える。
- 5 冷蔵庫でしっかりと固め、型から外す。
- 6 5を皿に盛り、冷凍したいちごをたっぷり乗せる。

○材料(4人分) ○
豆乳 350ml 水 250ml いちご 12個
グラニュー糖 10g はちみつ 適量 粉寒天 4g



寒天は固まりやすいので扱いやすく、食物繊維が豊富なのでお薦めの食材です。

今月のおすすめ本～図書室から～

『学校へ行けなかった私が』

「あの花」「ここさけ」を書くまで

岡田麿里 著 文藝春秋

たくさんの人々に感動を与えた2作のアニメ。知っている人も知らない人もいると思いますが、この2作品は、どちらも学校へ行けなかったり、自信がなくてうまくしゃべれなかったりした経験を持った人について書かれています。この本では、この2作品を書いた著者が、どういう気持ちで書いたのか、そして、著者の過去の経験を1つ1つのシーンに挿入した意味が書かれていたりしています。

橋本 南(東綾中学出身)

『図書館戦争』 有川浩 著 角川文庫

本を守るために戦争!? 独特な世界観から目が離せない! 生真面目な主人公がさまざまな壁に立ち向かい、本を守る様に感情移入してしまうこと間違いなし。戦争というタイトルですが、難しい本ではありません。読み進めるほど。続きが気になります。

升田 実梨(栗田中学出身)

実習レポート

■3年「総合実習」■5月28日(木)

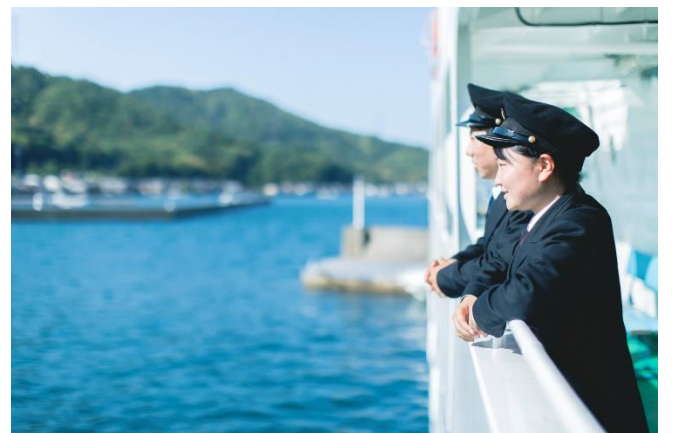
■海洋工学科航海船舶コース2年

■中村 彩優姫(青葉中学出身)

■本時の目標 レーダー映像から他船を読み取る。

■本時の内容 レーダープロットング

■今回の総合実習では、レーダープロットングについて、プリント学習をしました。昔はレーダー映像を用紙に書き写して、相手船との関係や最も接近する時刻とその距離を求めていたそうです。素早く作図して計算し、操舵しなければならなかったため、昔の船乗りは大変だったと思います。レーダー性能ははるかに向上した今、映像にカーソルを合わせれば、すぐに相手船の針路や速力を求めることができます。昨年9月、本校実習船「みずなぎ」を用いた国内航海でも、レーダーの操作方法について学ぶことができました。今後、乗船実習で航海当直をする際には、レーダーに現れる映像の動きから本船と他船との位置関係(行き会い、横切り、追越し等)についても、すぐにイメージができるようにしていきたいです。



校長室より

学校が再開でき、喜んでいきます。検温・手洗い・マスク着用の新しい生活習慣も定着してきました。夏季休業の短縮、就職選考開始時期の日程変更など、例年のスケジュールに修正が加えられ、戸惑うことが多いと思いますが、前向きに取り組む生徒たちの姿にたくましさを感じています。部活動についても活発化し、代替大会実施の動きが出てきました。一人一人がこれまでに培ってきた自分の良さや強みを見失うことなく、今何が大切かを考え、仲間との関係性を大切にしながら、未来を切り拓いてほしいと願っています。